

東京音楽コンクール入賞者リサイタル (2006年第4回東京音楽コンクールピアノ部門最高位)

齋藤 一也

7/8 FRI

シューベルト「さすらい人幻想曲」と
リスト「ソナタ」—
2つの大曲を柱に
希望と絶望、天国と地獄の狭間で
波打つ心の葛藤を
幻想的かつ情熱的に描く

ピアノリサイタル 2011 Kazuya Saito Piano Recital 2011

シューベルト:『4つの即興曲』から 即興曲変ロ長調 D935-3 op.142-3
F. Schubert: Impromptus D935-3 op.142-3 B flat major
シューベルト: さすらい人幻想曲 ハ長調 D760 op.15
F. Schubert: Wanderer Fantasie C major D760 op.15
シューベルト=リスト編: ヴァルス=カプリス 第6番「ウィーンの夜会」イ短調
F. Schubert = F. Liszt: Soirées de Vienne Valse-Caprice No. 6 A minor
リスト: ピアノ・ソナタ ロ短調
F. Liszt: Piano Sonata B minor
リスト=ホロヴィッツ編: ハンガリー狂詩曲第15番イ短調「ラコツィ行進曲」
F. Liszt=V. Horowitz: Hungarian Rhapsody No.15 A minor 'Rakoczy march'

2011年7月8日(金) 開演19:00(開場18:30)
東京文化会館小ホール

(東京メトロ・JR上野駅公園口下車)

3,000円(全席自由) 学生2,000円(要学生証提示)

主催: (株)東京音協 / (株)フロレスタン / (株)オフィスENZO

共催: 東京文化会館(公益財団法人 東京都歴史文化財団)

問い合わせ: 東京音協 03-5774-3030

一般発売日: 3月18日(金)より

プレイガイド: 東京音協 03-5774-3030 www.t-onkyo.jp

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 133-972)

イープラス eplus.jp (パソコン・携帯)

ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード 37654)

東京文化会館チケットセンター 03-5685-0650

シューベルトとリスト、二つの大作に交錯するもの



東京音楽コンクールで最高位をいただいてから、早くも5年になりました。その間、国内外を通じてたくさんの演奏経験を得る機会をいただきました。そして今回のリサイタルでは、今、最も惹かれているシューベルトとリストに焦点を当て、21歳の今の自分しか表現できないような、心で感じるままの新鮮な音楽を、聴衆の皆様の前で披露したいと思いました。

今回のシューベルトとリストの2大幻想的作品は、他の同時代の幻想的作品とは一線を画する長大な単一楽章になっており、形式的にはソナタでありながら、非常にダイナミックで自由な構成は、圧倒的なエネルギーと共に、聴き手に迫ります。いつ何が起こるか分からない、幻想的な光景の中を、恐る恐るひたすら光を求めて進んでいくさまは、まるで先の展開の読めない長大な冒険小説のように、私達の心を掴んで離しません。弾き手としても、そのスリルを存分に感じながら、表現したいと思います。

このドラマチックな展開は、両者ともに一貫したストーリー性があるものです。シューベルトのさすらい人幻想曲は「希望」と「絶望」、そしてリストのソナタは「天」と「地獄」。両者とも対照的な別世界のものをテーマに組み込んでおり、その間にうごめく葛藤は、人間の喜怒哀楽、またはそれを超えたものであるように感じます。異なる二つの大作に交錯するものは、極上の喜びであり、絶望であり、慟哭であり、永遠の「光」と深淵なる「影」であり、それらは音楽の余韻と共に、深い感動を呼び起こします。



2つのトランスクリプションを挟むことにより、プログラムにより華を添え、偉大なヴィルトゥオーゾの先達である、リストやホロヴィッツのヴィルトゥオーゾリティを、より浮き彫りにできると思いました。「トランスクリプション」という行為が、音楽家同志の「リスペクト」であり、その波が、今も現代に続いているのです。(齊藤一也)

齊藤 一也 Kazuya Saito

山梨県韮崎市出身。4歳からヤマハ音楽教室にてピアノ・作曲を学ぶ。ピアノ・作曲を石丸八重子、青木進、山下葉子の各氏に師事。2002年よりヤマハピアノ演奏研究コースに在籍し、ピアノを秦はるひ氏に師事。2005年4月、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。2006年8月、「第4回東京音楽コンクール」ピアノ部門、最高位(第2位)。2008年4月、東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に入学。2008年11月、「第9回スペイン人作曲家ピアノ国際コンクール」(スペイン Las Rozas) 第3位、及びG.B.BRAVO賞。2009年10月、「第66回ロン・ティボー国際ピアノコンクール」(仏パリ)ファイナリスト、及びフォーレの演奏における最優秀賞 Madame Gaby Pasquier賞。2010年8月、「第5回ヴィルトゥオーゾ・ド・フトゥール国際コンクール」(スイス Crans - Montana) 最高位(第2位)。2010年10月、「第79回日本音楽コンクール」ピアノ部門、第3位。これまでに、東京文化会館、地元山梨県や、数々の音楽祭などでリサイタルを行う。昨年はフランスでソロデビュー、2011年夏にはスイスの音楽祭にてリサイタルを行う予定。コンチェルトは、これまでに、沼尻竜典、梅田俊明、広上淳一、曾我大介、高関健、Ovidiu Balan、Didier Benettiの各氏の指揮のもと、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、フランス国立管弦楽団、Mihail Jora Bacau フィルハーモニー、藝大フィルハーモニアなどと共演。現在、東京藝術大学音楽学部ピアノ科4年在学中。ピアノを秦はるひ、Henri Barda、Mikhail Voskresensky、Remo Remoliの各氏に師事。2010年度よりヤマハ音楽振興会音楽支援制度奨学生。